

レジメン名称	1コース	催吐性リスク
XP+Trasutuzumab	21日間	高度催吐性リスク

薬剤	用量	用法	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21					
カペシタビン(セロ-ダ)	カペシタビンの投与量に準ずる	2×朝・夕食後		● → 14日間内服																								
イメンド125mg	1cp	1×化学療法60～90分前		●																								
イメンド80mg	1cp	1×朝			●	●																						
デキサメタゾン	8mg	1×朝 or 2×朝・昼			●	●	●	○*	*○は嘔気によって5日目まで内服も可																			

滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	ラクテック	500mL	メイン	6時間	●																				
2	ラクテック	500mL	メイン	6時間	●																				
3	ソリタT3	500mL	メイン	6時間	●																				
4	ソリタT3	500mL	メイン	6時間	●																				
滴下順	薬剤	用量	ルート	投与時間	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21
1	生理食塩液	50mL	メイン	15分		●																			
2	トラスツズマブ 生理食塩液	初回8mg/kg 維持6mg/kg 250mL	メイン	1時間30分※		●																			
3	パロノセトロン デキサメタゾン	0.75mg 9.9mg	メイン	15分		●																			
4	シスプラチン 生理食塩液	80mg/m ² 400mL	メイン	2時間		●																			
5	マンニゲン	200mL	メイン	30分		●																			
6	ソリタT3	500mL	メイン	2時間		●																			
7	ソリタT3	500mL	メイン	2時間		●																			
8	ソリタT3	500mL	メイン	2時間		●																			

※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。